

国際文化学科

Department of Intercultural Studies

豊富な語学科目や異文化に触れる体験型学修、
多彩なアプローチで世界を探究する。

「言語」「地域」「文化」の3つの側面から、世界の多様性について学びを深めます。10言語から選べる充実した語学科目と多彩な学問領域、そして実際に異文化に触れる体験型学修を通して磨かれる豊かな国際感覚。3年次からは6つのコースに分かれ、各地域の研究から文化や芸術の比較まで、それぞれの関心に応じたテーマで学びを追究できます。

学びのポイント

- 10言語から履修できる充実の語学科目で多言語を修得
英語に加えて、中国語、ドイツ語、フランス語、韓国語、イタリア語、スペイン語のうちいずれか1つの言語が必修。さらにタイ語、ベトナム語、ラテン語なども学ぶことができ、グローバルな語学教育を展開しています。
- 学生主体の研究旅行計画を支援し異文化理解を促進
フィールドワークや資料収集のための研究旅行など、充実の体験型学修により文化の多様性を体験。自らの力で考えながら複雑なグローバル社会を生きていく力を身に付けます。
- 6つのコースで自らの関心を深める学び
3年次からは、関心や目的に応じた自発的な学びを支える6つのコースに分かれます。1つの地域を追究したい、文化や芸術の違いを探りたい、などの希望に応じた学びが可能です。

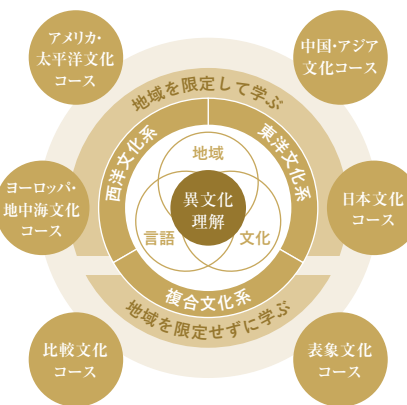
学びのフィールド

国際文化学科を構成する6つのコース

日本との関係が深いアメリカと太平洋諸地域の歴史、宗教、思想などについて、多文化主義の視点から多面的に学ぶ

さまざまな文化が根付いているヨーロッパ・地中海エリアの歴史、宗教、芸術、言語(イタリア語、ドイツ語など)を幅広く学ぶ

さまざまな国と地域の歴史や言語、思想や習俗に着目し、異文化を比較しながら、国際交流への理解を深める



中国の言語と歴史を中心に、日本や東アジア諸文化との交流を視野に入れながら、文学、思想、民族、社会などを学ぶ

古代から近現代までの歴史や文学を通じて日本文化を学び、日本を基点に国際交流のあり方を考える

絵画、彫刻、映画、アニメーション、音楽など、人間の五感によって表象されたものを対象に、多角的な視点からアプローチする

教員紹介

伊藤 慎二 教授
考古学

今井 尚生 教授
西欧近現代思想

柿木 伸之 教授
哲学・美学

片山 隆裕 教授
文化人類学

金縄 初美 教授
中国民族学

韓 景旭 教授
文化人類学

栗原 詩子 教授
音楽学・映画学

新谷 秀明 教授
中国近現代文学、中国語

西村 将洋 教授
日本近現代文学

西脇 純 教授
キリスト教典礼学

松原 知生 教授
イタリア美術史

ミハエラ マンケ 教授
日本文学

宮崎 克則 教授
日本近世史

宮平 望 教授
アメリカ思想・文化

尹 芝恵 教授
日韓交流史

朝立 康太郎 准教授
アメリカ史

伊東 未来 准教授
文化人類学

梅村 卓 准教授
中国近現代史

大坪 哲也 准教授
アメリカ宗教・文化

大原関 一浩 准教授
アメリカ社会・文化

押尾 高志 准教授
近世西地中海史

二藤 拓人 准教授
ドイツ文学・文化

藤田 公二郎 准教授
現代哲学

柳澤 史明 准教授
芸術学・美術史

山田 順 准教授
キリスト教考古学

ゼミ紹介 テーマ：中国文化を多角的に探究する



物事を多面的に捉える力で、
正解のない問いに挑む。

文献講読やディスカッションを行い、さまざまな側面から中国の文化や社会を探究しています。中国は、日本と隣り合いつつも似て非なる文化を持つ国。その相違点に着目することで、私たちが普段当たり前だと思っている価値観や常識を問い直します。異なる文化や歴史的背景を持つ人々の考え方に触れることで、物事を多面的に捉える力を得られます。また、正解のない問いに対して学生同士で意見を交わし、新たな視点を獲得できるのも本ゼミの魅力です。日々著しく変化する現代社会では、多様な意見を聞きその背景を知ろうとする姿勢が重要です。ゼミの活動を通して自ら考え行動する主体性と広い視野を身に付け、可能性を広げてほしいと思います。

国際文化学部国際文化学科
金縄 初美 教授



生の中国文化に触れながら学ぶ、
異文化理解の重要性。

国際文化学科では、1年次から段階的に自身の専門分野を選択することができます。中国の色彩文化に関心を持っていた私は、1年生で金縄初美先生の授業を受けたことで中国文化を学びたいという気持ちがより強くなり、本ゼミを選択。演習では、先生から中国での生活の話や体験談を聞き、本物の民族衣装を間近で見て学びを深めます。文献だけでは分からない、生の文化を知ることができるのがこのゼミの魅力です。自分のイメージと実際の文化に大きなギャップがあると気づき、文化の多様性を深く知り、理解しようとすることの重要性を学びました。今後もゼミで身に付けた異文化理解の姿勢を忘れず、一步步成長していきたいです。

国際文化学部国際文化学科 4年(2025年12月時点)
原田 百華 (福岡県・三池高等学校出身)

主なゼミテーマ

- 日本とアジア・太平洋の比較考古学
- 中国文化を多角的に探究する
- アメリカの「分断」を歴史学の視点から考える
- ドイツ語圏の文学・文化・思想に関する文献学的研究
- イタリア・地中海文化研究
- 文化人類学から世界をみる
- 現代世界を哲学する
- 中近世ヨーロッパ美術史
- ことばと音楽
- 現代東南アジアの政治・経済・社会・文化

カリキュラム(一例)

1年次

2年次

3年次

4年次

▶基礎

世界各国の文化と芸術に関する基礎知識を、ゼミ(少人数クラス)で学ぶ。

世界各国の文化と芸術に関する全24種類のゼミの中から、自分の興味や関心に基づいてゼミを選び、基礎的な知識や教養として読解力を身に付けます。また様々な外国語を学ぶことで、語学力と多角的な思考力を育てます。

▶応用

3つの系に分かれて専門的な視野を広げ、語学力を発展させる。

東洋文化系、西洋文化系、複合文化系の3つの系に分かれて、さらに専門的なゼミを開始し、研究文献を解釈する力や実践的な表現力を身に付けます。また各系に応じた講義科目を通じて専門領域(分野)に関する理解を深め、第3言語の修得も目指します。

▶発展

3～4年生の合同ゼミで、自分の専門研究を磨き上げる。

自分が所属する系の8種類のゼミの中から卒業論文の執筆に向けて1つのゼミを選びます。このゼミは3～4年生が協力して学ぶ合同ゼミです。また自分の専門研究と外国語学習を結びつけることで語学力をさらに向上させます。

東洋文化系	日本文化コース	中国・アジア文化コース
西洋文化系	アメリカ・太平洋文化コース	ヨーロッパ・地中海文化コース
複合文化系	比較文化コース	表象文化コース

演習(ゼミ)・卒業論文

◎基礎演習A・B①
◎導入演習A・B②

◎専門演習A・B③
◎卒論演習A・B④

◎卒業論文④

文化論

文化コース基礎論a～f①
文化のダイナミズムA・B①

系・コース専攻					
日本文化史A・B② 日本文化論A・B② 日本文学論A・B② 東アジア文化交流論A・B② 日本社会論A・B②	中国・アジア文化史A・B② 東アジア思想A・B② 中国文学概論A・B② 中国民族文化論A・B② 東アジア文化論A・B②	アメリカ・太平洋文化史A・B② アメリカ思想文化論A・B③ アメリカ社会文化論A・B② アメリカ宗教文化論A・B③	ヨーロッパ・地中海文化史A・B② ヨーロッパ文学論A・B② ドイツ文化論A・B② 地中海都市文化論A・B② 地中海宗教文化論A・B②	比較文化論A・B② 現代思想文化論A・B② 比較社会文化論A・B② 文化人類学A・B② 比較言語文化論A・B②	表象文化史A・B② 表象文化論A・B② 表象メディア論A・B② 美学・芸術学A・B② 芸術文化史A・B②

専門外国語

専門外国語(英語)A・B③
専門外国語(中国語)A・B③
専門外国語(フランス語)A・B③

専門外国語(ドイツ語)A・B③
専門外国語(韓国語)A・B③
専門外国語(イタリア語)A・B③

専門外国語(古典語)A・B③
専門外国語(スペイン語)A・B③

学部共通

現代哲学思想A・B②
世界史概論A・B②
日本史概論A・B②
中国史A・B②
アメリカ史A・B②
ヨーロッパ史A・B②
宗教学A・B②

文化社会学A・B②
文化創造論A・B②
人文地理学A・B②
地誌学A・B②
自然地理学A・B②
日本民俗学A・B②
漢文A・B②

考古学A・B②
古文書学A・B②
ヨーロッパ・ケルト文化論A・B②
比較文化概論A・B②
社会調査法①
社会調査技法②
量的データ分析論(基礎)①
量的データ分析論(応用)①
統計解析論①
質的データ分析論①

自由研究

海外語学学修Ⅰ・Ⅱ①

自由選択

社会調査実習A・B③

◎:必修 ※履修科目横の①～④は履修年次を表します。

授業紹介

日本文化論

「私」という意識が「他者」との共通点やズレの認識を通じて徐々に形成されていくのと同じように、「日本」文化も「他国」の文化との共通点やズレから形作られてきました。この授業では、明治時代に国内外で発表された地理学・武士道・茶道・美術などに関する日本文化論を取り上げ、それにより現れた日本と諸外国の文化との関係性を考えます。内向きの日本文化理解から解放され、より立体的な日本文化理解を試みましょう。

文化社会学

現存する人類は生物学的にはホモサピエンスだけであり、人類に「人種」はないにもかかわらず、私たちはたびたび人種問題に直面します。風船は国境を越えられるにもかかわらず、私たちは国境を超えるには「許可」が必要で、それを持ってないがゆえに命がけで国境を渡る者たちであります。この授業では、文化や社会をとりまくこのような目には見えない概念・制度がどのように構築されてきたのかを学び、それらのこれからを考えます。



Student's Voice

内定先 RKB毎日放送株式会社



五感で「当たり前」を疑う学びを力に、
地元、九州の魅力を発信する。

中学生の時、シンガポールでのホームステイで体験した多文化共生社会への驚きが、国際文化学科を選んだ原点です。ここでは世界中の文化を多彩なアプローチで学べるのが魅力。文化人類学の授業ではフィールドワークを通じ、五感を使って世の中の事象を学ぶ意義を知ることができました。また、留学生サポート活動や実践的な韓国語学習を通し、異なる文化背景を持つ人への想像力や共感力も身に付きました。卒業後はRKB毎日放送で、大学で培った感受性と自分の言葉で伝える表現力を活かし、地元九州の新たな魅力を見つけ、さまざまな形で発信していきたいです。

国際文化学部国際文化学科 4年(2025年12月時点)

綾 みやび

(宮崎県・宮崎大宮高等学校出身)

福岡で学ぶ
Fukuoka

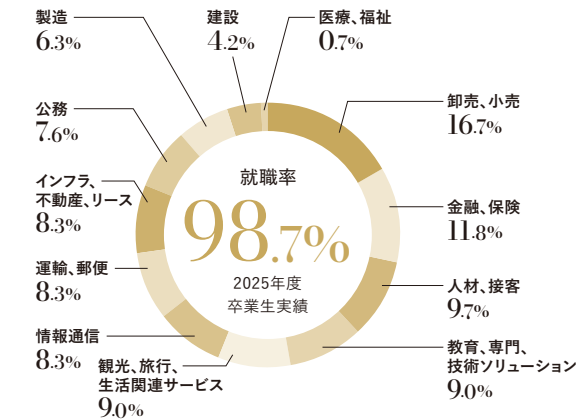
福岡から世界の課題を考える

モロッコ、アメリカ、韓国、マリ、日本など世界各地の社会を扱う映画の上映と、監督や専門家の講演を組み合わせた「映画×世界」プログラムを開催。福岡と世界を地続きに捉え、多様な社会課題へと視野を広げます。



※国際文化学部主催「映画×世界」学術講演プログラム

就職情報



主な内定先(2025年度卒業生実績)

全日本空輸／日本航空／アクセンチュア／富士ソフト／
 JTB／阪急交通社／リコージャパン／日東電工／
 コカ・コーラボトラーズジャパン／積水ハウス／
 住友林業／RKB毎日放送／西日本鉄道／
 西日本鉄道国際物流事業本部／クラフティア(旧九電工)／
 三井ハイテック／福岡市交通局／三菱UFJ銀行／
 みずほ銀行／福岡銀行／西日本シティ銀行／
 東京海上日動火災保険／国家公務員一般職(法務省)／
 国家公務員一般職(厚生労働省)／
 国家公務員一般職(検察庁)／福岡県職員／
 福岡県福岡市職員／福岡県公立学校教員(中学校)

取得できる免許状・資格

- 中学校教諭一種(社会)
- 高等学校教諭一種(地理歴史・公民)
- 学校図書館司書教諭
- 博物館学芸員
- 社会調査士

※各集計値は四捨五入しており、合計が100%にならない場合があります。

World
世界で学ぶ

身に付けた言語を、現地で用いる刺激を味わう

大学で学習したスペイン語を、アルカラ大学(スペイン)での短期語学研修でブラッシュアップする学生たち。現地の学生や人々との交流を、生きたスペイン語で行うことで実践的な語学力を身に付けます。

